



珪藻土配合たたき風床仕上材

# たたきくん

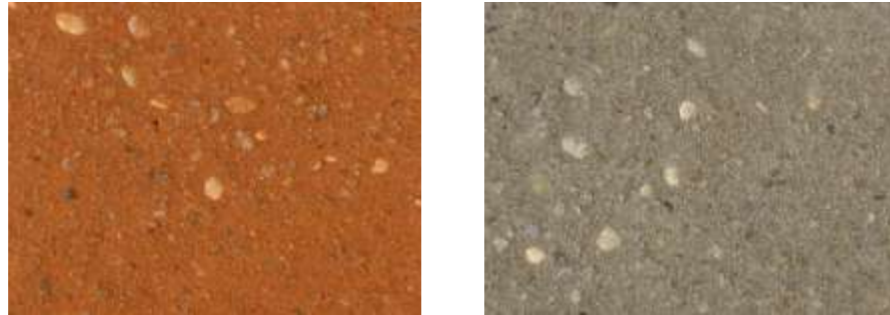
伝統の床たたきを新しい  
工法で再現した新感覚塗床材

たたきくんは、使いやすくコスト面でも有利な…

**10mm工法**


上塗(8mm)+下塗(2mm)

二瀬窯業株式会社


珪藻土配合たたき風床仕上材  
たたきくん 新工法のdoma仕上げ  
水を流さずに石目が出せる～室内に最適

## 特長


## ①産地限定の珪藻土を配合。癒しの空間を演出

たたきくん  は、珪藻土を配合した化粧仕上材です。玄関や土間など目につくところやいつも使う場所に優しい土の質感をプラスして健康的で文化的な生活のお手伝いをします。

## ②手軽に施工できる塗床材でも仕上がりは本格的

素朴で自然な風合いが人気の床たたきですが、固く練った材料を木槌などを使ってたたき締めながら仕上げていくという専門技能が必要な施工方法ですので、完成までには時間も手間もかかります。床たたき用のプレミックス材料を業界でもいち早く製品化することが出来た私たちは、もっと手軽に床たたきならではの表情を楽しんでもらえるよう、風合いはそのままに塗床タイプのたたきくん  を開発しました。

## ③下地～仕上げまで安心のシステム施工だから高品質。割れや摩耗にも強い

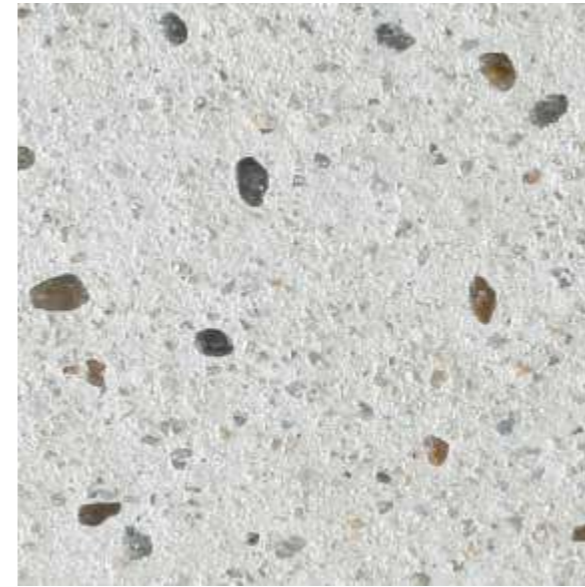
カジュアルさが売りのたたきくん  ですが、配合は最新の研究成果を反映し、素材はもちろん使用する副資材まで実績のあるプロ用材料を採用していますので、どんな現場仕様にも柔軟に対応できるトータルで使いやすい施工システムです。

## 試験成績表

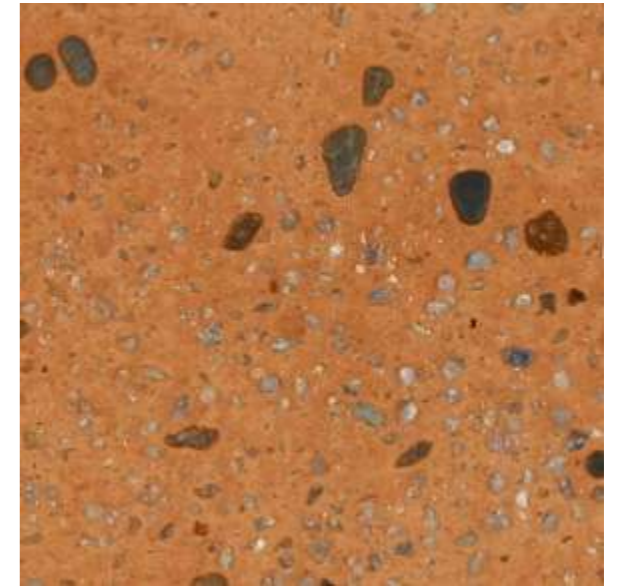
下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

試験項目	試験結果	測定方法
回転数	磨耗減量 [g]	テーバー式 磨耗輪:H-22 試験荷重:500g 回転速度:60RPM
600	1.55	
1200	3.36	
付着強さ [N/mm <sup>2</sup> ]	1.22	材令14日
長さ変化率 [%]	0.08	JIS A 1171

## 標準色



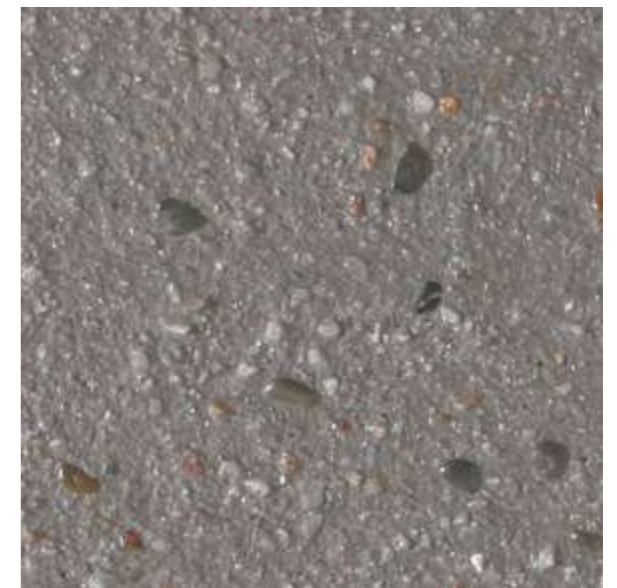
① しろ



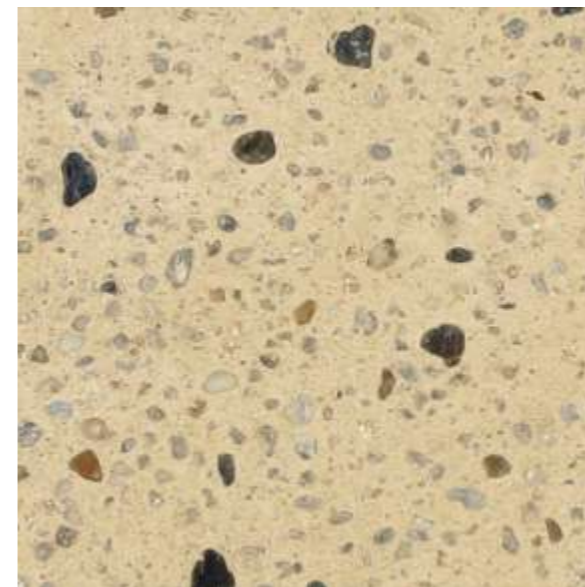
② あか



③ ちゃ



④ はい



⑤ き



⑥ もも



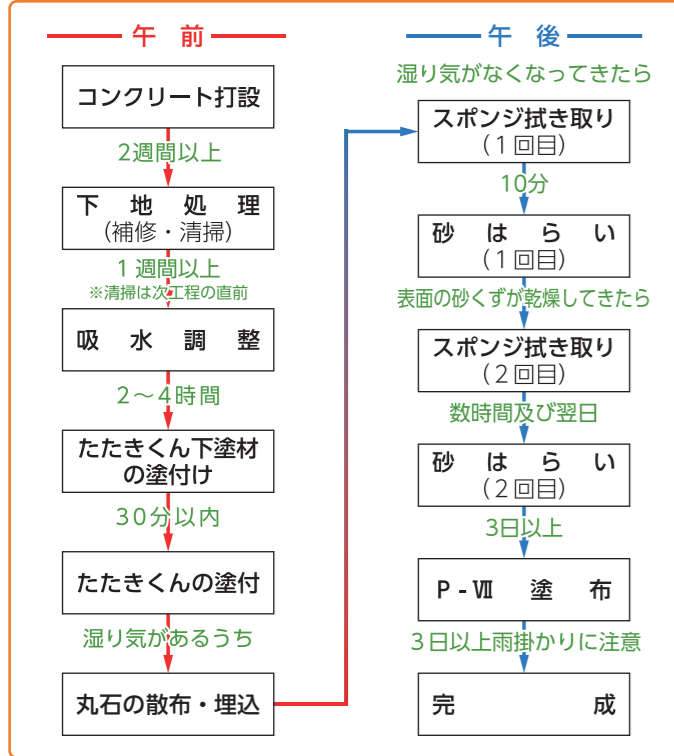
# 標準施工手順

## たたきくん



### たたきくん施工フローチャート

(緑字は施工時間の目安；面積10㎡程度)



### 施工前の注意点

- コンクリート及びモルタル以外の下地のときには施工を行わない様にしてください。
- 車の乗り入れる場所は、割れ、削れの恐れがありますので、使用しないでください。
- 一点に荷重が集中するような物を設置したり、引きずったりしないでください。削れやえぐれ等が発生します。
- 駐輪場に施工すると、自転車のスタンドが同じ箇所にも当たることで、削れ・えぐれ等が発生しますので、使用しないでください。

- 事前に施工場所を確認し、水勾配(排水)の設計等を適切に行ってください。
- 常時、水掛かりがある場所ではコケが生える恐れがあります。
- 階段など出隅部分は、角が欠ける恐れがあります。
- ハイヒール等で歩行される場合、通常よりも削れやえぐれが発生しやすくなります。
- 椅子等で同じ場所ばかり引きずると、削れる恐れがあります。
- 油污れ等の染みこむ汚れは除去しにくくなることがあります。
- 気温が5℃以下及び5℃以下になりそうな時は、施工を行わないでください。
- 下地を十分に乾燥させた後、施工を行ってください。

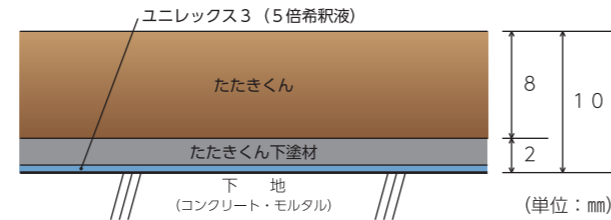
### 1. 下地処理

- <コンクリート下地>
- 施工後に色ムラやひび割れ等の原因となりますのでコンクリート打設後、2週間以上養生してください。
  - 施工前日に降雪雨や夜露などの可能性がある場合、施工面が濡れないようにシート養生を行ってください。
  - レタンスや油脂類等が表面に付着している場合は、高圧洗浄機などを使用してこれを除去し、清掃を行ってください。
  - コンクリートの極端な凸部や脆弱部分は、サンダー等で除去し、必要なら補強を施し木ゴテ仕上げとしてください。
  - 極端な段違い部や凹部は、ポリマーセメントモルタル(ペース#40など)を充填して補修してください。
  - 鉄筋が見えている場合には、必ず錆止め剤を施してください。
  - 大きなクラックは、Vカットしてポリマーセメントモルタル(ペース#40など)を充填して補修してください。

### 1. 下地処理 (つづき)

- <モルタル下地>
- 下地モルタルは木ゴテ仕上げとしてください。
  - 施工後に色ムラやひび割れ等の原因となりますのでモルタル塗付け後、1週間以上養生してください。
  - 施工前日に降雪雨や夜露などの可能性がある場合、施工面が濡れないようにシート養生を行ってください。

#### 【たたきくん施工断面図】

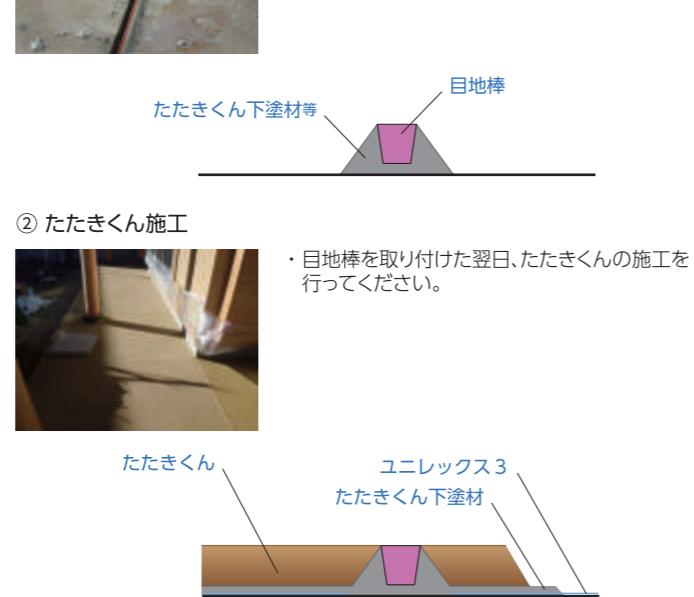


### 2. 伸縮目地の設置 (大面積時の区分施工)

- 【伸縮目地の設置箇所】
- 伸縮目地の設置間隔は約3mおきに(目安としては、目地で囲まれた面積が約10㎡以内)、また、コンクリートのひび割れ誘発目地の位置に設けるようにしてください。

#### <伸縮目地の設置方法>

- I. 埋め込み目地(真ちゅう目地棒等)を使用する場合
- 真ちゅう目地棒をしっかりと固定してください。真ちゅう目地棒は、幅5mm程度のものを使用をお勧めします。
  - その後、たたきくんの施工を行ってください。
- II. 目地棒除去後、たたきくんで目地部分を埋め戻す場合
- ① 目地棒の取り付け
- たたきくん下塗材などで、目地棒を取り付けてください。
  - 目地棒は取り外しやすい発泡目地棒を使用することを勧めます。



### 2. 伸縮目地の設置 (つづき)

- ③ 目地部分の埋め戻し
- 目地棒を取り除いた後、目地部分に篩って荒い骨材を取り除いたたたきくんを塗り付けてください。
  - ※面落ちにするか、面一にするかは、各現場でご判断ください。



### 3. 下地の清掃

- 塵や粉塵等は、掃除機やプロアー等で十分に除去してください。



### 4. 吸水調整

- 左官刷毛等を使用し、施工面全面にユニレックス3の5倍希釈液にて、吸水調整を行なってください。(ユニレックス3：水道水 = 1：4)
- 吸水調整材を塗布した下地表面が完全に乾いて透明になってから次の工程に進んでください。目安としては2～4時間です。(気象条件、下地の状況により異なります)



### 5. たたきくん下塗材の塗付け

#### 【たたきくん下塗材の混練】



- 上図のようにたたきくん下塗材(1袋:25kg)に規定量の水道水(4.5L/袋)を加え、モルタル用かくはん機等を使用し十分に混練してください。



- 【たたきくん下塗材の塗付け】
- 吸水調整の完了した下地に、たたきくん下塗材を十分にコテ圧をかけてしごき塗りを行い、追っかけてすぐに、2mm程度の厚みまで塗り付けてください。
  - ※たたきくん下塗材を塗付け後、施工面を触って指に付く程度の間にはたたきくんの塗付を行ってください。目安としては、たたきくん下塗材施工後30分以内です。(気象条件、下地の状況により異なります)

### 6. たたきくんの混練



- たたきくんは、上図に示す配合にしたがって、1袋(15kg)単位で計量し、混練するようにしてください。
- 混練に使用する水は水道水とし、台秤または計量カップを使用して計量してください。
- たたきくんは、混練するミキサーの種類によって練り上がり性状が変わりますので、練水量は1.4～1.6Lの範囲で調整してください。施工軟度の目安としては、バサモルタルより少し柔らかい(表面を押さえた時わずかに水分が上がる)程度です。
- 同一現場においての練り水は、はじめに決めた水量で継続して計量してください。施工の途中で練り水量が変わると、色ムラなどの原因となります。
- 練水量が多いと、耐摩耗性の低下やひび割れなどの原因となります。また、仕上がりの時間が長くなりますので、練水量は厳守してください。



#### I. モルタル用かくはん機で混練する場合



- 水道水(約1.4L/袋)とたたきくん専用硬化液(0.2kg/袋)を、予めモルタル用かくはん機で5～10秒程度軽く混ぜ合わせておいてください。
- 硬化液を入れた練り水に、たたきくんを徐々に投入して、練りダマができないように約2分間混練してください。
- 軟度調整が必要ならば、残りの練り水(0.1～0.2L/袋)を徐々に加えて、適度な硬さに調整してください。目安としては、バサモルタルより少し柔らかい程度です。

5分程度練り置き後、水を加えずに練り返して使用してください。

- 練り置き時間は20分以内とし、水を加えて練り返しや練り足しは絶対に避けてください。

- モルタル用かくはん機は、アルミ製のものを使用しないでください。
- 練上げた材料は直射日光を避け、シート掛け等で水分の蒸発を防いでください。



# 標準施工手順

## たたきくん

### 6. たたきくんの混練 (つづき)

#### II. モルタルミキサー(タライ型)で混練する場合



・水道水(約1.4ℓ/袋)とたたきくん専用硬化液(0.2kg/袋)を、予めバケツ等でレンガゴテやひしゃく等で軽く混ぜ合わせておいてください。

・モルタルミキサーでたたきくんをかはんしながら、硬化液を入れた練り水を徐々に投入して、練りダマができないように混練してください。



・モルタルミキサーの隅や、かはん羽根の周辺に混練不足のたたきくんが残っている場合があるため、一度ミキサーを止め、レンガゴテ等でかき落とした後、再度混練してください。

・軟度調整が必要ならば、残りの練り水(0.1~0.2ℓ/袋)を徐々に加え、適度な硬さに調整してください。目安としては、バサモルタルより少し軟らかい程度です。

5分程度練り置き後、水を加えずに練り返して使用してください。

練り置き時間は20分以内とし、水を加えて練り返しや練り足しは絶対に避けてください。

混練時間が長くなると、たたきくんが必要以上に軟らかくなりますので、混練時間はトータルで2~3分程度としてください。  
練り上がったたたきくんは、直射日光を避け、シート等を掛け水分の蒸発を防いでください。

### 7. たたきくんの塗付け



・たたきくん下塗材を塗付け後、たたきくん下塗材を触って指に付く間にたたきくんを所定の厚み(8mm程度)まで金ゴテで塗付けてください。

強度発現や耐久性に影響しますので、たたきくんの塗付けは、コテ圧をしっかりとかけながら行ってください。

次工程以降は、直接仕上げ面には乗らず、スポンジ下駄を使用するか敷板等の上に乗って施工してください。  
水を使用するバケツについても敷板の上に乗せ、仕上げ面に水がかからないように注意してください。



施工後時間を置いての補修は色ムラの原因となります。

### 8. 定木ずり



・たたきくん塗付け後、定木ずりを行い、木ゴテで平滑に整えてください。

※金ゴテで表面を何度も押さえると表面が黒くなる場合があります。

### 9. 丸石の散布と埋め込み

#### <丸石の散布>



・たたきくに湿り気があるうちに丸石パック(0.2kg)を散布してください。

・丸石の散布量はお好みにより調整してください。

※たたきくんが乾燥すると、丸石が馴染み難いので注意してください。

#### <丸石の埋め込み>



・金ゴテ、もしくは木ゴテを使用して丸石を埋め込み、軽く頭はりを行ってください。

(丸石がたたきくん、少し被る程度まで埋め込んでください。)

#### 【丸石が馴染みにくくなった場合】

・真夏の施工時等、たたきくんの表面が乾燥して丸石が馴染みにくくなった場合は、水を含ませてかたく絞ったスポンジで表面を軽くなで、たたきくと丸石を馴染ませてください。

次工程までは表面の湿り気が無くなる程度(スタイロフォームを敷いて上に乗れる程度)まで養生してください。

### 10. スポンジ拭き取り (1回目)



・たたきくんの表面の湿り気がなくなってきたら、水を含ませてかたく絞ったスポンジで円を描くようにして表面のノロ分を拭き取ってください。

・拭き取り具合で表面の砂目の出し方を調整してください。

スポンジ拭き取り時の水分が多いと、色ムラのおそれがありますのでご注意ください。  
使用するスポンジは出来るだけ新しく凹凸が少なく平滑な物を使用してください。凹凸が大きく粗いスポンジを使用すると仕上がりが粗くなるおそれがあります。

拭き取りは出来るだけ新しいスポンジで!



古いスポンジでは仕上がりが悪くなります

### 【浸透性硬化材(P-VII)塗布における注意点】

浸透性硬化材(P-VII)は、たたきくん内部に浸透することで効果を発揮しますが、乾燥が不十分の状態(内部にまだ水分を含有している状態)でP-VIIの塗布を行うとP-VIIの浸透が滞り色ムラの原因となったり、表面の強度発現に悪い影響を与えたりする事がありますので、P-VIIの塗布は必ずたたきくん施工3日以上静置後に行ってください。(静置中も降雨や結露などによる濡れが無いように適切な養生を行ってください。)

### 11. 砂はらい (1回目)



・最後に拭き上げた時点から10分程度経過後、表面に残った砂くずを乾いた左官刷毛やナイロン製で毛先にややこしのあるほうきで軽く取り除いてください。

※強く掃くと表面が削れてしまいますので、注意してください。

### 12. スポンジ拭き取り (2回目:仕上げ拭き)



・たたきくんの表面の砂くずが乾燥してきたら(砂くずの色が白っぽくなってきます)、水を含ませてかたく絞ったスポンジで同一方向にきれいに拭き取り、砂目を出して仕上げてください。

※スポンジで同一方向に拭き取らないと、光の当たり具合によって見栄えが変わるおそれがあります。

スポンジ拭き取り時の水分が多いと色ムラのおそれがありますのでご注意ください。  
仕上げ拭きに使用するスポンジの水は、清水を使用してください。  
汚れた水を使用すると、色ムラの恐れがあります。  
拭き取りムラのないように十分に注意してください。

### 13. 砂はらい (2回目)



・スポンジ拭き取り後、数時間静置して表面の砂くずがある程度乾いたら、乾いた左官刷毛等を使用して表面の砂くずを掃いきれいにしてください。

・施工翌日にも乾いた左官刷毛を使用して表面の砂くずを掃いきれいにしてください。

※表面が湿っているまま砂掃いを行うと、ノロを拭き取って仕上げた丸石の上に再度ノロが付着して美観を損ねることがありますのでご注意ください。

巾木部分の清掃に散り刷毛に水をつけて清掃しないでください。清掃に使った水がたたきくんの際で白く変色する可能性がありますので予め養生しておいてください。



砂掃い前



砂掃い後

### 14. 養生

・たたきくん施工後に降雨雪のおそれがある場合、または、通風・日照の激しいときはシート養生等の保護養生を行ってください。シート養生を行う際には間に毛布やムシロなどを敷いてシートや結露した水滴等が直接たたきくに触れないようにしてください。

・たたきくん施工後、歩行や作業が行われる場合は、敷板等で養生し局部的に力が加わらないようにしてください。歩行や作業終了後は、ただちに養生を取り除いてください。養生したままですと、色ムラのおそれになります。

### 15. 浸透性硬化材(P-VII)塗布

#### <事前準備>

・P-VII塗布前にたたきくんが乾燥しているか確認してください。乾燥していない状態でP-VIIを塗布すると変色や耐摩耗性が低下する可能性があります。目安としてはたたきくん施工3日以上経過後、P-VIIを塗布するようにしてください。ただし、P-VII塗布までの時間は気象条件などにより異なります。

・乾いた左官刷毛を使用してたたきくん表面の砂くずを掃い、きれいにしてください。

#### <塗布>

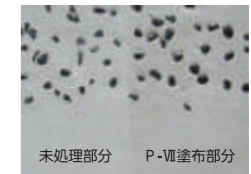


・P-VIIは希釈せず原液のまま使用してください。  
・P-VIIはムラなく左官刷毛等で、P-VIIが溜まるくらいまで、しっかりと塗布してください。10分以内にP-VIIがまだ吸い込むようであれば、再度塗布してください。

・ローラー等で塗布すると標準塗布量以下になるおそれがありますのでご注意ください。(標準塗布量300g/m<sup>2</sup>)

・P-VIIの塗布量が少ないと、色ムラや耐摩耗性の低下になるおそれがありますので、ご注意ください。

・P-VIIを塗布することで、多少濡れ色になります。



未処理部分 P-VII塗布部分

#### 【P-VII塗布における注意点】



・P-VII塗布から20分程度経過した後もP-VIIが残ったままですと、変色したり光沢が残る場合があります。



・乾いたスポンジ等を使用してP-VIIを吸い取ってください。

・P-VII塗布後、開放までは半日~1日としてください。



P-VII塗布直後



乾燥後

#### 【P-VII塗布における注意点】

・P-VII塗布後、最低3日以上は降雨などの水掛かりに注意して養生してください。雨や結露などの水分が仕上げ面に直接触れないように養生してください。P-VIIが乾燥する前に水掛かりがあると変色する可能性があります。養生期間は、気象条件などにより異なります。

・P-VII塗布後、半日~1日程度は歩行や作業を行わないでください。どうしても作業を行う場合は、敷板等で養生し、局部的に力が加わらないようにしてください。歩行・作業終了後は直ちに養生を取り除いてください。



# 施工例

## たたきくん

### ○出隅部分

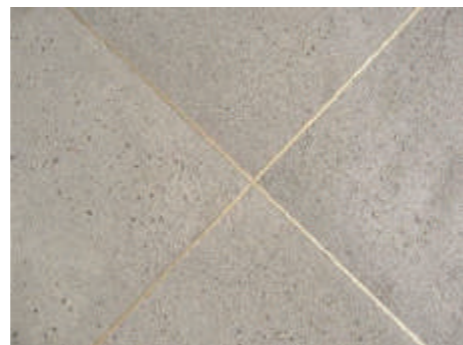
出隅部分にたたきくんを塗り付けると、施工後欠ける可能性がありますので、下記写真のようにコンクリート打設時に枠をつくるか、タイルもしくは石材を張ることをお勧めします。  
また、弊社のたたきくん段鼻・蹴上り部専用塗材として「フチドリ」もご用意しております。



### ○立ちあがり部分



### ○伸縮目地（真ちゅう目地）の設置例



*Life scene with Tatabaki Kun*





# 関連資材・仕様

## たたきくん

### たたきくん・関連資材の荷姿・仕様



珪藻土配合  
たたき風床仕上材  
**たたきくん**  
15kg紙袋

標準施工面積  
1㎡/袋  
(塗厚:8mm)



**たたきくん**  
**硬化液**  
0.2kg(200g)容器

たたきくん1袋につき、  
たたきくん硬化液を  
1本混入してください。



**丸石パック 混色**  
0.2kg(200g)ポリ袋  
粒径:4~6mm

丸石パック 混色 を指定した  
量散布してください。



**たたきくん**  
**下塗材**  
25kg紙袋

標準施工面積  
10㎡/袋  
(塗厚:2mm)



吸水調整材  
**ユニレックス3**  
1kgPETボトル

標準施工面積  
33㎡/本  
(5倍希釈)



浸透性強化材  
**P-VII** (ピーセブン)  
2kgPETボトル

標準施工面積  
6㎡/本  
(原液塗布)

### たたきくん series

#### 段鼻・蹴上り部専用塗材

## フチドリ

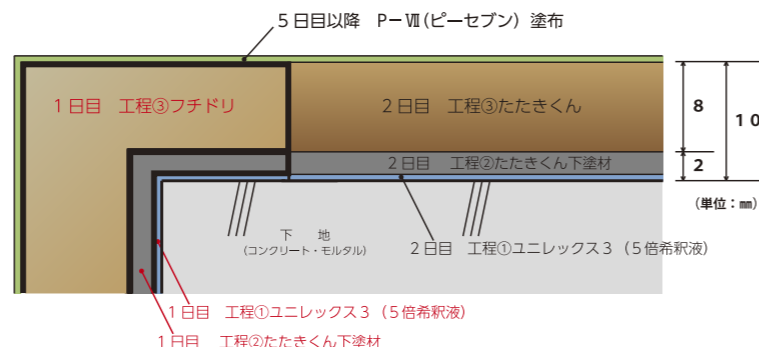
フチドリは、たたきくん で仕上げた階段や段差の段鼻部や蹴上り部を自然に仕上げるための化粧仕上材です。たたきくん に合わせた質感、6色をご用意しました。



段鼻・蹴上り部専用塗材  
**フチドリ**  
10kg紙袋

標準施工面積  
0.5㎡/袋  
(塗厚:8mm)

【たたきくん・段鼻・蹴上り部 施工断面図】 ※詳しい施工方法は別途施工要領書をご参照ください。



【標準色】 たたきくに合わせた6色をご用意しております。



たたきくん通常施工

緑部：フチドリ

※イメージ図

## 施工に必要な道具

金ゴテ	木ゴテ
スポンジ	左官刷毛
スポンジ下駄	

## 性能表示

たたきくん		たたきくん硬化液	
日本建築仕上材工業会登録	登録番号 1004020	日本建築仕上材工業会登録	登録番号 1004021
放散等級	F☆☆☆☆	放散等級	F☆☆☆☆
区分表示		区分表示	
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>	問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

たたきくん下塗材	
日本建築仕上材工業会登録	登録番号 1004022
放散等級	F☆☆☆☆
区分表示	
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

無石綿

業務用

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

※本製品の使用は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

珪藻土配合たたき風床仕上材

## たたきくん

## 注意事項

### 施工上の注意点

- ・たたきくんには水道水や弊社が指定するもの以外のものは混ぜないでください。
- ・たたきくんの練り置き時間は約20分です。また水を入れての練り直しや練り足しは避けてください。
- ・伸縮目地の設置間隔は、コンクリートのひび割れ誘発目地部分や約3mおきに設置してください。(伸縮目地で囲まれた面積が約10㎡以下になるようにしてください)
- ・色違いや段差ができないように、一つの面で縁を切らずに連続して施工してください。
- ・たたきくんの練水量が多いと、クラックや色ムラの原因となりますので十分に注意してください。
- ・たたきくん及びたたきくん下塗材はアルカリ性のためチリ廻りや幅木、サッシ等の養生は確実に行ってください。(変色の恐れがあります)
- ・水を含ませたスポンジを使用するため、水含みが多かったとき色が若干白くなる場合がありますので、拭き取りの水量には、十分に注意してください。
- ・拭き取り時のスポンジの水は、常に清水を使用してください。
- ・直射日光や降雨などに十分注意し、施工後約1週間程度は養生を行ってください。必要ならばシート養生などを行ってください。
- ・施工後、約1週間程度は物を設置したり歩行や作業は行わないでください。もし、歩行や作業が行われる場合は、敷板等で養生し局部的に力が加わらないようにしてください。歩行や作業終了後は、ただちに養生を取り除いてください。
- ・たたきくん及びたたきくん下塗材の保管は直射日光や湿気を避け、パレット等で地面から離して保管してください。
- ・たたきくんは天然素材を使用しているため施工時の季節や天候、製造ロット等の条件により色合いが多少異なる場合があります。

### ご使用上の注意

- ・ご使用前には必ず袋に記載の注意事項や安全データシート(SDS)をよく読んで正しく安全にお取り扱いください。
- ・本施工前に1㎡程度のコンパネに実際と同じ色調、パターンにてテスト施工を行い仕上がりの確認・検討をされることをお勧めします。



ISO 14001取得企業

## た た き く ん は 湿 式 材 料 で す

材料を水でこね、定められた仕上げ方法に沿って  
左官職人さんが技や知識を駆使して丁寧に仕上げます

たたきくん施工前には必ず、お施主様や設計士さんの立会の下、試し塗りを行い仕上がりを確認してから実施工を行ってください。(見本で提出した決定サンプル板との比較)

たたきくんは湿式材料です。施工当日に左官職人さんが現地で材料を混練して塗付け、仕上げを行います。タイルや化粧パネルのように最初から定まった形が無い為、表面の砂目の出方など表情は均一にはなりません。また、見本で提出した決定サンプル板と全く同一の色調、仕上がりにならない部分もあります)

たたきくんは施工をする季節や、施工中の天候の変化等により、明らかな施工ミスが無くても施工した部位毎に色調が微妙に異なるような事もありますが、品質にバラつきがある訳ではなく、湿式材料の性質としてご理解ください。



二瀬窯業株式会社

<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289

関 東 工 場 千葉県木更津市新港15-8  
〒292-0836 TEL 0438-30-7372 FAX 0438-30-7472

本社営業グループ 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289

東 京 営 業 所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F  
〒105-0014 TEL 03-6453-6685 FAX 03-6453-6686

名 古 屋 営 業 所 愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F  
〒452-0006 TEL 052-509-2485 FAX 052-509-2486

大 阪 営 業 所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F  
〒552-0002 TEL 06-6583-3310 FAX 06-6583-3325